

江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成26年度第2回 第5分科会（経営、企画分野）
日時	平成26年10月28日（火） 午後6時～午前7時20分
場所	江南市防災センター 2階 研修室3
出席者	市民委員 太田 靖子、早瀬 裕子、福田 直樹、初山 光正、飯島 和代、奥村 忠、 佐藤 晃、脇坂 康彦
	市職員 坪内 俊宣、松本 朋彦、村瀬 正臣、栗本 浩一、石黒 稔通、古田 義幸、 村田 いづみ、岩田 高志、大倉 由美子
傍聴者	なし
議題	1. 前回の議事要旨について 2. 戦略計画達成状況報告書（まちづくり評価シート）について
資料	第1回まちづくり会議 議事要旨

◆ 会議結果 ◆

1. 前回の議事要旨について

- ・事務局より前回の議事要旨について説明がありました。

2. 戦略計画達成状況報告書（まちづくり評価シート）について

〔柱4〕 効率的かつ円滑な事務管理の推進

- ・資料4に基づき、委員（総務課長、会計課長、監査委員事務局長）より説明がありました。

〔個別目標①〕 効率的かつ円滑に業務が実施され、わかりやすい情報の提供により開かれた市政が行われている

- ・指標名「電算化した業務数」について、平成23年度から25年度までずっと58件であるが、どうということかとの質問があり、基準年度となる平成18年度までに電算化されていた業務は54件あり、その後、平成25年度までの間に新しく電算化した業務は8件、なくなった業務は4件あり、差し引きして58件となっているとの説明がありました。
- ・各課のいろいろな業務がある中でシステム化すべき業務数の目標が見えにくいこと、また、電算化したことによる削減額や時間数などが分かると、指標として分かりやすいのではないかとの意見がありました。

〔個別目標②〕 資産が適正に管理・運用され、有効に活用されている

- ・指標名「歳計現金の有利子運用の割合」について、市が業者に支払いをする場合に、支払請求から工事代金については40日以内という法律に定められた期限の中で、支払日を期限まで延ばして執行することにより、少しでも有利子を生むような取り組みをしてはどうかとの意見がありました。

〔個別目標③〕 各種行政委員会の事務が適正に行われ、市民の信頼が得られている

- ・来年実施される統一地方選挙に向けて、平成 23 年の市長・市議会議員選挙投票率 52.4%よりも下がらないようにどのような準備をしていくのかとの質問があり、大型店舗で買い物客に投票への参加を呼びかけたり、啓発のティッシュを配るとともに、選挙公報の発行などを考えているとの説明がありました。また、小中学生向けには、要望のあった学校で模擬選挙を行うなど選挙出前トークを実施しているとの説明がありました。

〔柱 5〕 より開かれた適切な議会運営への支援

- ・資料 4 に基づき、委員（議事課長）より説明がありました。

〔全体目標〕 より開かれた議会の実現とわかりやすく親しまれる議会運営が行われている

- ・指標名「議会活動が市民にわかりやすく説明されていると感じる市民の割合」の達成率は 189.2% と非常に高いが、議会の傍聴者は何人くらいいるかとの質問があり、平成 25 年度の 1 年間で傍聴者数は 143 人であり、ほとんどの人は一般質問の日に傍聴にみえていたとの説明がありました。傍聴者数の推移としては、自宅で視聴できる一般質問の生中継・録画中継を開始したこともあり、増えていないとの説明がありました。
- ・他市の傍聴者数との比較ではどうかとの質問があり、平成 25 年度の状態では、犬山市（人口約 75,000 人）349 人、岩倉市（人口約 48,000 人）106 人との説明がありました。
- ・一般質問の内容はあらかじめ分かるのかとの質問に対して、何日にどの議員がどのような質問をするか分かるように、議会の開会日にホームページに掲載しているとの説明がありました。
- ・一般質問の生中継・録画中継の件数、ホームページの会議録閲覧件数について質問があり、平成 25 年度の状態では、生中継 3,572 件、録画中継 6,732 件、会議録の閲覧 10,144 件との説明がありました。
- ・柱全体の今後の課題の中で「本会議のみならず、委員会等の活動も含め、住民にわかりやすいような形で情報公開に努めるべき」との記載があるが、委員会の活動について今後どのように対応していくのかとの質問に対して、議会改革特別委員会において、本会議の全日程を中継するなどの検討がされており、委員会に関する事項については次の検討課題と認識しているとの説明がありました。
- ・委員会での質疑の概要は市の広報に掲載されているが、細かい議論の経緯などを知りたい人が、委員会の会議録を見ることができるよう検討していただきたいとの意見がありました。

〔その他分野全体を通して〕

- ・まちづくり会議のあり方について、例えば税金の滞納問題であれば、市役所はどのように進めていきたいのか、どのようなことがネックになっているのかを説明し、市民の側はどのように考えるのかしっかり議論したうえで、最終的に戦略計画に掲げていくことが大事ではないかとの意見がありました。これに対して、たたき台がない中で議論をしても相当の回数を開催しないと会議がまとまらないのではないかという懸念もあるため、担当課でたたき台を示しており、平成 30 年度以降の新しい計画を策定する際には十分配慮していきたいとの説明がありました。